



社協 かんど

活動スローガン

豊かなであい・楽しいふれあい 心やさしいまち神門
 老いも若きも手を差しのべて みんな仲間だ神門の輪

第96号 令和8年3月12日発行 神門地区社会福祉協議会

冬の子どもサロン もちつき大会開催

冬の子どもサロンは、12月6日、恒例のもちつき大会を開催しました。参加者は小学校1年生から3年生まで15名です。

前半は、3チームに分かれて、チーム毎にもちをついたり、丸めたりしました。もちつきは、一人15回程度つきます。子どもたちは、思いつきり重い杵を持ち上げ振り下ろしました。今年は3年生の参加が半数以上と多かったこともあり、例年以上に力強い音が響きました。「重いけどがんばった」「楽しい」という声が聞こえていました。

後半は、ビンゴゲームです。リーチになってもなかなかビンゴにならず、数字が示される度のため息が出ましたが、全員がビンゴになることができました。つきあがったもちと景品をお迎える家族に見せ、嬉しそうにコミセンをあとにしました。

今回は、ホームステイ中のフィンランドの中学生2名が見学に来ました。もちつきも体験して

もらいました。二人とも日本のもちつきを知っていたそうです。動画配信を通じて、広く世界に知られているようです。

今後杵と臼を使ったもちつき大会を開催し、たくさんの子どもたちに日本の伝統行事を体験してほしいと思います。
 (ひだまりキッズサロン部長 米山寛江)



そっと、やさしく丸めました。



力強い音が響きます。



あと一つ。数字を呼ばれますように。



子どもたちの感想

★はじめてもちつきをしました。もちをつくの、まるめることもたのしかったです。また、やってみたいと思いました。

★もちつき機のもちは、丸めるときはとても熱かったけれど、きれいにまるめることができてよかったです。

★ぼくは、おもちをつくるとき、強くつきました。そうしたら、どんと大きな音がしました。それが楽しかったです。



ホームステイ中の二人も挑戦。

認知症研修会開催

認知症になっても住み慣れた
ところで生活するために

10月14日(火)

認知症の人と家族の会「島根県支部代表の黒松基子さんを講師に招いて研修会を開催しました。参加者33名は、認知症になった人も住み慣れたところで安心して生活できる社会を実現するために必要なことを学びました。

現在、3人に1人が高齢者で、そのうち54人に1人、80代後半では40%、90代では60%以上の人が認知症です。そうしたなか、令和6年1月に施行された認知症基本法は、認知症の人が個性と能力を十分に発揮し、人格と個性を尊重し合いながら共生する社会の実現を目指しています。

認知症の予備軍である軽度認知症(MCI)は、認知機能の低下が見られるものの、日常生活には大きな支障がない状態を指し、早期の発見と生活習慣の改善(健康的な食事や運動、社会的な活動)によって進行を止められる可能性があります。具体的には、歯茎のブラッシングや睡

眠時間の確保、難聴の予防や補聴器の使用に加えて、心地よい刺激や笑うこと、人の役に立つこと、役割を持つこと、おしゃべりをして外出することなど生活を活性化することが重要であるそうです。

認知症と診断されても個人差が大きく、周りのサポートにより普通の生活が十分に送れる人や困難なことがあっても前向きに暮らし、活躍している人もたくさんいます。

認知症の症状や特徴を正しく理解し、偏見や差別を無くし、少しの工夫や気づきによって、認知症の人や家族を応援する社会を築いて行くことが必要であると思います。

(総務部長 山本 明盛)



「声かけ・見守り活動」を終えて

神門地区の高齢者の方への声かけ・見守り活動を実施するため、昨年6月に福祉委員の皆様のご協力により、対象世帯の調査を行いました。対象世帯は、満75歳以上の「独居者世帯」と「高齢者のみの世帯」です。

その結果、対象世帯数は187世帯で、そのうち「きめ細かな訪問」を希望される世帯は10世帯でした。

そして、11月11日から20日の間に福祉委員の皆様による声かけ・見守り活動を実施しました。

神門地区におい

ても、高齢者を狙った固定電話による詐欺やその他の犯罪に対する不安の声が挙がっています。



そうした中、他地区の諸団体や警察との連携を深め、来年度も福祉委員の皆様、町内会の皆様のご理解とご協力のもと、この活動を継続して行きたいと考えています。

(高齢者部長 日野 喜代和)

健康マージャン

65歳以上のシニアを対象に毎月第1・第3木曜日の午前9時から神門コミュニティセンターで行っています。

「賭けない・飲まない・吸わない」を基本にした健康マージャンは幸楽部の活動の一つで、「認知症予防」に効果的です。

脳を活性化し、記憶力や判断力を向上させるほか、他町内の人と対戦することで新しい友達をつくり、充実した時間を過ごすことができます。

ベテランの人や何十年ぶりにマージャン牌を握る人、男女問わず、和気あいあいとした雰囲気です。

事前の申し込みは不要で、見学だけでも構いません。ご参加をお待ちしています。

(幸楽部長 田中 辰郎)



ふれあいサロン

10月、11月は西新町のトリニ
ティカレッジ出雲医療福祉専門学
校の学生の皆さんにも参加して
いただきました。

◎10月21日(火) デコパージュ

聞き慣れない言葉ですが、好
きな絵柄の紙を貼り付けてオリジ
ナルバッグを作りました。細かい
作業が大変でしたが、学生の皆
さんにも手伝ってもらい完成した
作品は文化祭に出品しました。



◎11月12日(水) お楽しみ会と健康体操
いつも元気いっぱい山の根千恵美
先生と笑いあいの体操を行った後、
お楽しみ会でプレゼントをもらっ
たり、学生の皆さんの工夫を凝ら
したレクリエーションを楽しんだりす

るなど、時間が足りないくらいで
した。



◎12月23日(火) 正月花を生ける

瀬島生花店から正月用の華や
かな花を持ってきてもらい、素敵
なフラワーアレンジメントを作りま
した。その後、参加者同士のお
喋りタイムを初めて設けて、楽し
いひと時を過ごしました。

(ふれあいサロン部長 秦 律子)



町内B型サロン

◆嘉儀町内「笑和会」

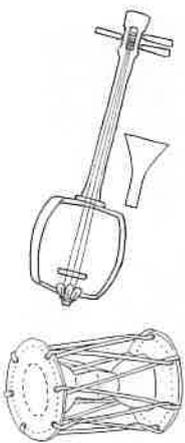
町内も高齢者が増えて、顔を
合わせる事が少なくなつたので、
気軽に集まれる場所をつくらうと
「笑和会」というB型サロンを昨
年2回開催しました。

6月に認知症予防の講話と転

倒予防体操
を行い、11月
には三味線と
鼓の演奏によ
る本格的な
安来節の唄と
踊りを楽し
みました。

いずれも30
名ほどの参加
があり、地域
の話題で話が弾み、「つながり」の
大切さを感じました。この輪を
広げ、互いに助け合う町内にして
行きたいと思えます。

(福祉委員 林 孝康)



◆浅柄町内「夏祭り」

8月7日(木)、夕方から町内の0
歳から97歳までの35名(このうち
70歳以上の高齢者は10名)で夏
祭りを開催しました。

最初に町内にある一畑薬師の
石碑をお寺さんに拝んでもらった
後、出雲の加木屋さんのラウンジ
で、かき氷やお菓子を食べながら
ゲームをしたり、昔話に花を咲か
せたりして、楽しい時間を過ごし
ました。

数年前には居なかつた小学生以
下の子どもも今は10人で、幼児
から高齢者まで4世代にわたる交
流によつて町内の絆が一段と強
くなりました。

(福祉委員 勝部 祐二)



スマイルキッズ・あんじゅ
合同クリスマス会

ひだまりキッズサロン部では、12月10日(水)にスマイルキッズとあんじゅの合同クリスマス会を開催しました。参加者は親子12組27名にスタッフ、バンドメンバーを加えて合計41名で、にぎやかな会になりました。

最初はツリーの飾りつけです。子どもたちは、大きなツリーを見上げながら、かわいいオーナメントやモールを飾りました。電飾がキラキラと光り、室内は一気にクリスマスモードです。

次はわくわくバンドのライブです。ハンドベルによるクリスマスソングで始まりました。子どもも大人も音楽に合わせて、体を動かしたり、手遊びをしたりして楽しめました。パネルシアターでは、次々と動物が出てきて、子どもたちは大喜びでした。

そして、ハイライトはサンタクロースの登場です。「シャン、シャン、シャン」。鈴の音が聞こえてきて、子どもたちの期待

はマックス！大きな袋を持ったサンタさんに、うれしそうにする子や少し緊張ぎみの子がいました。表情は様々でしたが、ひとりずつ名前を呼ばれてプレゼントを受け取るとニコリ顔です。サンタさんに抱っこしてもらって、写真撮影もしました。

最後に、みんなで輪になってお茶会をして、楽しかったクリスマス会は終了しました。

ご参加いただいた皆さんのご協力のお陰で、今年も笑顔がいっぱいの和やかな会になりました。

(副会長 布野 美喜子)



お知らせ
コーナー

◎あんじゅ

日時 3月18日(水)午前10時

場所 神門コミュニティセンター

◎グラウンド・ゴルフ大会

日時 3月19日(木)午前9時

場所 平成スポーツ公園

◎地区社協理事会

日時 4月21日(火)午後7時

場所 神門コミュニティセンター

◎地区社協総会

日時 4月24日(金)午後7時

場所 神門コミュニティセンター

◎町内福祉委員研修

日時 4月24日(金)午後8時

場所 神門コミュニティセンター

「社協かんど」編集部

- ・大野 一郎
- ・春日 仁史
- ・梶谷 幸生
- ・松田 由紀
- ・秦 美智子
- ・岸 淳子

この社協かんどは出雲市社会福祉協議会からの助成金を財源の一部として発行しています。